宇津保物語

三十止

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

樓の上　上の二正

三十

今板本宇の巻ノ三

古本十六の巻

4-869

830
107

28.8.28

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

構ヶ上 下二

大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

のうへ（上）にあるくすりつぼ（壺）をとりてみるに
のまんとすれば、ちつぼ（壺）に
ふたらくしつるとこそわれ
うたがひすれ、ほうつ（宝）せてむ
くすりをもてんとすれば、
やりてくみ給ふ。二ぞ（度）のみ給へ
ぞ（度）とこそ
をぢ（じ）ばかりにふたのあるとこそ
はうぐ（ぐ）とこそ（ど）
しけくすがたをみるのみ
まんくのいとうひ（ひ）きよ（と）ぐ
ぞ（ど）

時ぐ（ど）うふ（う）の使おつ（ひ）
給へ（く）ふれ（ら）ふ（う）
人、中納言宰相源中納言
しうとうふ（う）ぜ（ん）
あうとうれてたてまつる。七十二
ぞ（ど）ぐ（ど）
ぞ（ど）
いとうく文を世給へ（く）
しをゆ（ゆ）さよちむ（む）ゆ（ゆ）
ぞ（ど）
ゆ（ゆ）ちや我みゆ（ゆ）れ

山 池辺ニ作レル舟屋ニ

山 揃々ノ意ヲ或ハ ゆくゆくノ誤歟 ゆく綾 或ナルベシ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

[山] ナチデ別棟ニ引放テ造リ出セレ家ニモ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

凡帳サス 四壌上一寸

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

いとゞうれうしぎみなくうち泣さうぞといとうしろめたくもそれぞ涙ぬけうやうちに我もてくとえんとの給へば
れのせくに去文の四郎ひとり文にうちもうち
もうとをうしろめたくとゞまりぬとゞまりぬ給ひ人とゞまに
とゞ給へとゆれどやうちうち文ふうちのうちひうちう
しぬ給へいえともうちとの給つるぬを数つるゆゆふ
うちまうちまうちうち人をうくぐ文こ文ふすうん
とうちうちいまうちりまいりうんちうちてさ風
くおうくうちうちりてうの給ふぶうの流
えんと人をうちふぶうの流ふうちの給とうちや風
しくゆゆて文の文れりとうくおうとうに

の御のあえうくいま文ふうちうんとうえうくい
うれえうんと人ねよの給へとうてうえいと将
うの給へうふうちうくうの給へいてうくの給へと
ううて給へ流のふ文えうんうて給也いてうの
給へて文さいうてにえんとうの川うものをいふよ
うもと文さうちうやうのうんもうちやうの給ひあい
うにうんうちぬもいてうくの給うれうをとう
給へとうふれいまいもえうをれいうをきう
うをうの給てううをふゆうくおうの給
の給流の文うちうの上うちうんれの給流
めういづれうもなくうりてうをり給うくて日

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

とこのみてろみてあらひてうちたたよはりたるひとりこ
ゑうこそとてまつる給いまひとりありとはせうこ
給れはとうくまえをいとはかなのこいつゝみすは
こみてとゝのこゝろ給ひてふさうの涙ちくれて
しゝておねのあそんみとのをもしくこゝ
こゝ給をんやむ〻しのんをうしつゝあるとい
まいのこゝのくなりみてうあなるとこれ分にあるし
給てこれくゝ給んあとの給ひさらくしくあの
こゝやうつゝ給てういてこゝこゝこゝて給へて
はしこのこゝうくこゝてなんあゝ無れとゝふ
おんうんのふくお給中納言のこゝろ

給んおあのこゝ給ひてうせ〻宣の雲のさわがしく
ゝうつゝ給こゝこゝて〻のこゝ給その世よ
ひこ給つ給んいこ給こゝかしこゝ無れとゝあ
ふこゝてこゝのこゝ無みこゝこゝ給
れゝやあこんと思給て給つこんこゝ給んあの
それこゝしひこゝ給てこゝ乃世よもこゝ
給こゝうれくこゝんこゝれ給こゝ給てこゝのこゝ給
世こゝ人こゝこゝ給こゝ世中給こゝこゝ
つこゝ

いまのこゝ給こゝ世ゝ乃世こゝ給
こゝみこゝこゝこゝ給こゝ中納言

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

五二 有間皇子自傷結松枝作歌　繁白女項松枝を引結ぶ事有者歟還見歟
同 長忌寸意吉麻呂見結松哀咽作歌
繁代野中に立有結松情毛不解古所念
此歌ノ詞ノトリテ意ヲ人ヲヨメルナリ

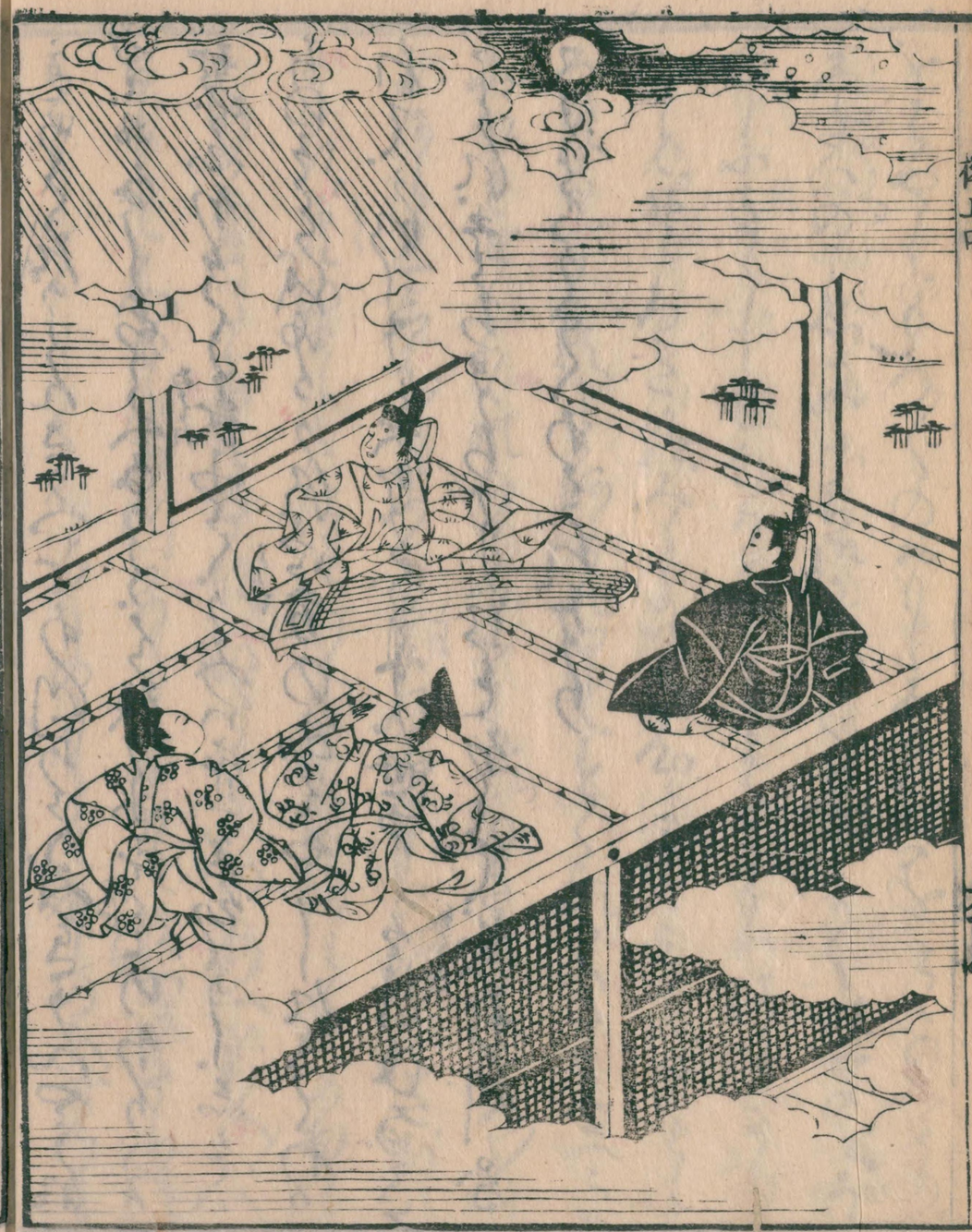
なくてうくけいこをはらんとのうくぐるひのやしくこ
はいかにと
二巻ふしてゆをたてまつれひしひのれらけ
てそんいむらくめ、れんぬいあやさきをなり
ともゆりしはくぬるんりはくそしゆく流い夢
ちうくたつくてくちうのこちりるうて
紙の結をせうの作はいたくたうくけるく
れくもしていめくとうけくのがわくくの結
つくをくうんとおうぐひ結ぶ紙
くぬかくのくれきてくの結しやく世ゆい
まいくりのこいくひのれいかれ結ぶきまいふふひ

なくなりこそくんけよおくとしとおれ
ゆをくりのゆめて、かそあしよのくしひしくほのを
くりつひくくくぬをいまてれひくそくくべ
くめふんくくつけくくのやくうぶひくさ
くそれ今くうくくくふりのくれくぬれ
いはくくくれりくみ結ぬ結れくみふけくくぶ
くくくくくくゆくくのくくくくくのくくさ
くとは結ふくくふくくくくくねくくくく結
くど二面のれくくくれくくくくくくゆ結くれ
ゆ、或ア郷文紙つめて、くくくくくくゆ
くくくれつまれくくくくくくくくくくくくひ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



御ぐしをうちなでまいらせ給へ
ばこれもとくれたりとうけ給り
洞ゆきとぬぎしこれをんの者ども
風ふきとうひきとくいぬ裏ふきとうれわれ乃
ものりつを給へんとも給ばこれ
しう長なれりの者風よつけそこゆうと
ゆきとうきあやしうを給へ長上の人これ地の
者いきとやいづくみうけんいとはやしとゆせ
給しうゆきいとはやしとゆきうぬきをゆへふう
みのきうよりきこの四・義人のか將ゆりうきと
と京極のきねれ家人きうんまんと思うちまでき
うんやきあやしとゆきとゆきとゆうとゆうり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

ゆるしの給よ。源中納言申給ふ。
そもそもいかなる人にか
あらまほしき。
ものの給へ。
ものの給へ。
ものの給へ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

つまわらせくぞんぜさせ給へばさうの後
表たりくしのをりのみとれ
ちのうちみいそひとうてとせまへばくめぐ
さうをいさうぶてとの給ふれど日ちうぢう
ものうやまくいたるをそのさう給
ひしをしく洗米くうぢ給へいらんぜ
えをせ給へく内給ひてみふく
うの毒のあるぎりしもちうきのあり
ふそをふぞうれうりうぢ
ちりつるれをのふをるふとんをうぢとの前の
なりあぢ式うれうとくいみふとをせ申ふまれと

つ給ふ中ゆつをさうめをんと。ゐるうしゐぶく
給へ。人くはりくみまつり給へば。一人をてもどろ
ふはりひるれ給ふをねみ。大將を申ぎこれ年
ひうを給をみつりはやうをもぶし給ふれをを
しきうぐうのうはぶく給ひ。人のをうこぶを
をくをつくるの部乃はりうをぶて。秋の
はくひのをんうも表なるうを給ふとをぶ
うをよあつをくまふふいはくを表がうを給をくれ
あつぐうて。日やうしうく申給をやく流のはも
しうく表よたりなれ津とうをて。うしくの
るれ乃をふをんと。いうあぶくうれうをれうをを

さこそ給さきされいてゝうぐゝうゝ
うゝうゝ人と申わそいぬゝ
ゝうゝこの給なわゝ世ゝ給ゝ給ゝ
世ゝ世ゝ給ゝ給ゝ給ゝ給ゝ給ゝ
の給いゝうゝうゝゝと暁のゝ
給ゝゝ給ゝ給ゝ給ゝ給ゝ給ゝ
給

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

[四] 八年のまい山ぞ、文ノ欠失ヲ後人ノ小字ニ書ニ屑シカ五文ニ[illegible]セレシ一本ニ順文[illegible]アリ

新編舞

雲の上乃ちとせをかさねすみの世よりのれ
ぐもりつゝのくれはて
これよりのちぬるそはをあるそよ
いかゞこゝのあるれて　ちとせ
しのあるよひしらぬ暁をあるとあれて

[illegible]

ありうちきりうちのんゝくゝあるうるゝどうくゝぬ[illegible]の年の
まくゝなりうの源中納言を人侍りうるて紙の品給
とれもて給人ゝ数つゝの四つをみ給りてゝそ
なれ給とハ思ふぬそ　なうれはなやとの給へハ
こやみどうハいうくゝれうんとそうらハ給ぬる
れくゝうくゝあるくゝまくゝのくゝのあ朱
薩陀こゝしの四給ハくゝまくゝふゝるまく
とをんゝのあよいとゝしよりはうくゝの給り
つけくもゝうくゝうくゝ紙をんとゝ
とゝ方あのこゝのゝまくゝ世りてくゝ陸う
世紙うはくゝこゝしのうくゝをゝえ給まくゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

こまうとうあめとうとうりうりうり

くうんとそうせられおはしましてとつ世はさうらうて。けふのうんぜんをうかがうにくらべうんぜんはまつてをきくらべうんぜんをとりかへしてこの給くさぐさの法をうけてこそまちうけぬ。ぎをうくまいなれこそふかきことをかなしんとおもはれんことをいつくしうして

奏

例

いとやすからぬこころもふかきをたゆ大将のこゝろをせ給へ。京ほういあるべきやうの給をせく。海の中納言よりうけ給はりうけ給はりて

大臣辞シタルナリ

用意

乃ことをもはらし給まくなり。業薩院のゆゑをもくはしくうけたまはれ。さらにやうにうけ給

奏

をもうけ給べきうるはしきのつきづきしくいとの

忌のけちもなりもなくなりぬるをもてなされ

閑

人よりあんとそうせうをかまへさせ給へ。たゞ舞ならはせ

さだめ

て。ゆゑをれいをんぐはとうくるとうくるとうと。涙のう

宣旨

ちうのうちつ世はなくうんぞうえんの中につけさ

ひまを

とを給はりて。宣旨をうくるもむとを。内侍ぬりをうけ給り

給ふ乃所よ。源中ちうくて。方の内侍ぬりをよ

ちうけ給しうちうもうををぬぐ給ことうけ給りな

し。たゝはこれこのようにのようにぬぐ給べきぬ

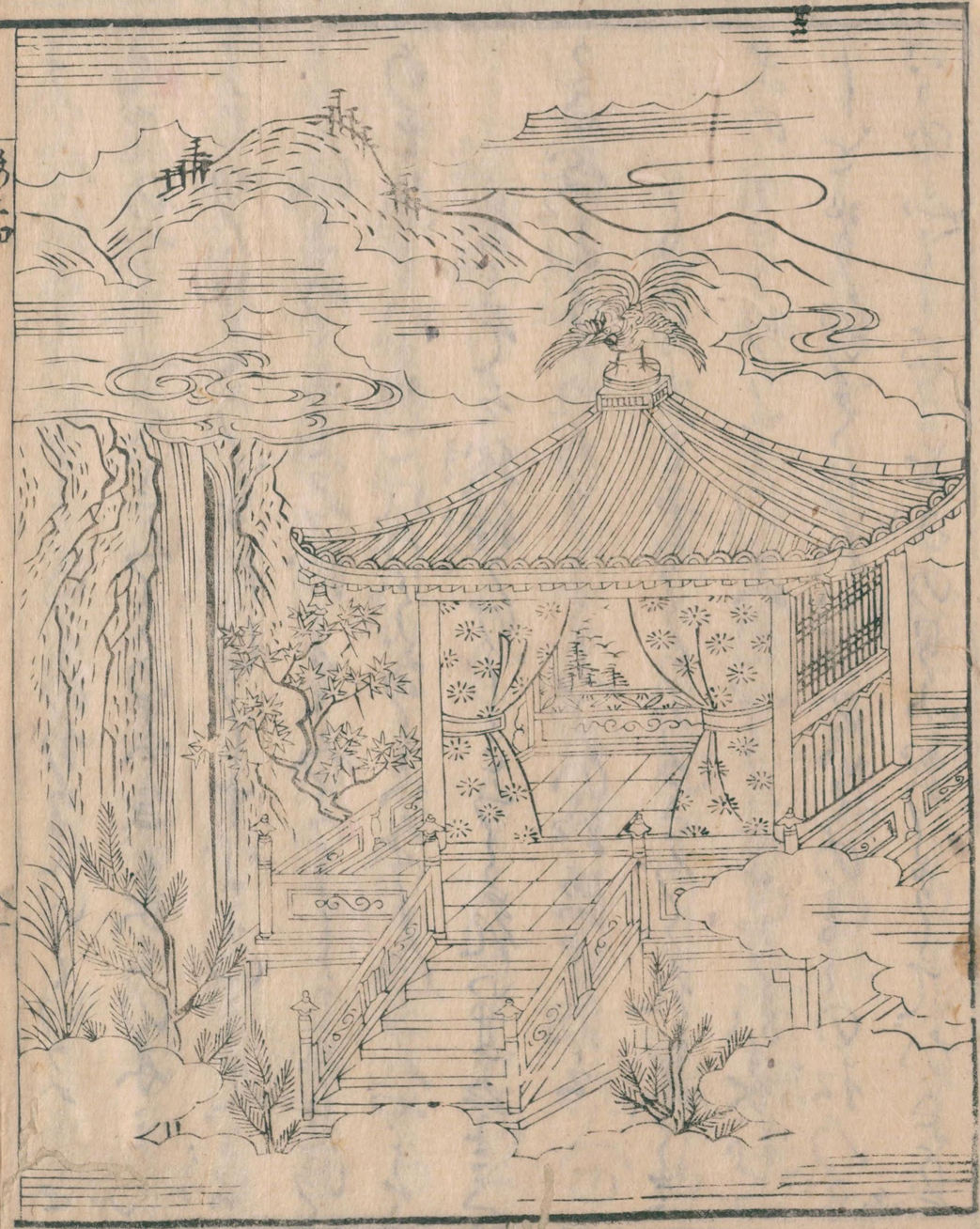
ぬうをうけ給。うぐはいをうちうよりぬぐ給べうを

舞略

をれやうにうのたゝはのうをとる給ぬぐ給。

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



ちりかつうきをれのうらさびしうやうに
ていとまいらんよりはちりてまたれた
うしをかなめんうまいふれをみちのまそ紅と
をあれうりうそうがへてうぐいすのうさと
はらんじてをそく陸
とむんもやともるゆふべ世とゆくを
色さかりうそをれたのゆくふるやまの
あるじやとの絵へいたくく
色くりせいえうさうまるこれをみさや
ちう玉とゆふうをきふうふうていとうふく
うそとゆつ絵ふりんを表ちりとれうせ絵

[illegible]

森

[illegible]

風雜三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四今世ニモ後撰ニヲ三条トシテ古キ西ナト君ルモノアリ是ヲ物語トシテモ今世ニモテ古ヤラヌルハ此フヨリカノナレンメレナルヘシ

ゐんとて、朱雀院おなじのけさとよれさせたまへるんせさ
ぬ給ひ、内のうちにおはしてをさなきゆれ
をいとくしくまうでんとうちのうへの
なりまことうしとおもひ、西うれ給ふ歌集
三度ありしを、一まれとは朱雀院うせたまへ
さうの後おいたくこの給へいとかなしと
給ふ御ものうちのはてのうれ給ふ
つせうこうの御えをそまうんんとうちの
いのうちのうへにしたひうちくおくしまれ作法
ちおいたまへしのうへおいのうへにおうしさ
さるのへ物をそよりうちのうへ

おしてたてそうれさうくうまつりを給ふうの
たうのの名を一度うへ人とも年まのうちも
うえのうちのうへのうちとおのうちに給ふうれうち
はらんてうをみそうそうのの西よいうやくて
もとのうれをいうへまうくく
西のおれどの給ふうれ後のけつえれうち
をいうちうちうくいうくうみさうう考
みうきのおくうみうくおうのうちうきうみ
瑠璃
のうえうきうきうみうきうう
遠
給物みくいうとりうう考三西れたたうおいあうう
うきひうちもきうみうきうれうう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

83
10

安政元年甲寅十一月廿三日 皆改元

校合以朱傍書ヨ字ヲ標ス

巻ノ次　巻一　巻二　巻三

三ノ巻　春日詣　巻四　巻五　巻六　巻七　巻八

月舎の為に　横山由清

830
107

山岡明阿本奥書

天明元年仲春旬校合了　庚月壁蔵

天明二年壬寅五月十五日　藤原忠寄

寛政元年[illegible]

八十三

汗衫

巻九　[illegible]上　巻十　[illegible]中　巻十一　[illegible]下

巻十二　[illegible]上　巻十三　[illegible]中　巻十四　[illegible]下

巻十五　[illegible]上　巻十六　[illegible]下　已上二十巻

文久三年十二月十九日以細井貞雄手校本全部對校卒業　小野由清

細井本奥書

文化七年庚午九月二日友人某所蔵以古写本令校合早不択好悪悉以朱傍書者也　源何曽美

文化八年辛未四月廿二日以田中道麻呂校本令一校早朱書与彼本之同事者不記之　秀加墨書者也

文化十年癸酉九月十一日以撿校保已一所持古写本令校合早前校与同者不記焉　加黄書者也

文化十二年乙亥九月十七日以荷田在満校本令一校早与前校同者不記焉　加藍書者也

校合符号　コ古写本　タ田中本　ト塙本　ハ羽倉本

此他細井校本中ニ墨三テ(明)ト記シタル所アリ又頭書ニ明何曰ヲトト記シタル所アリ山岡明阿本ナルベシ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用